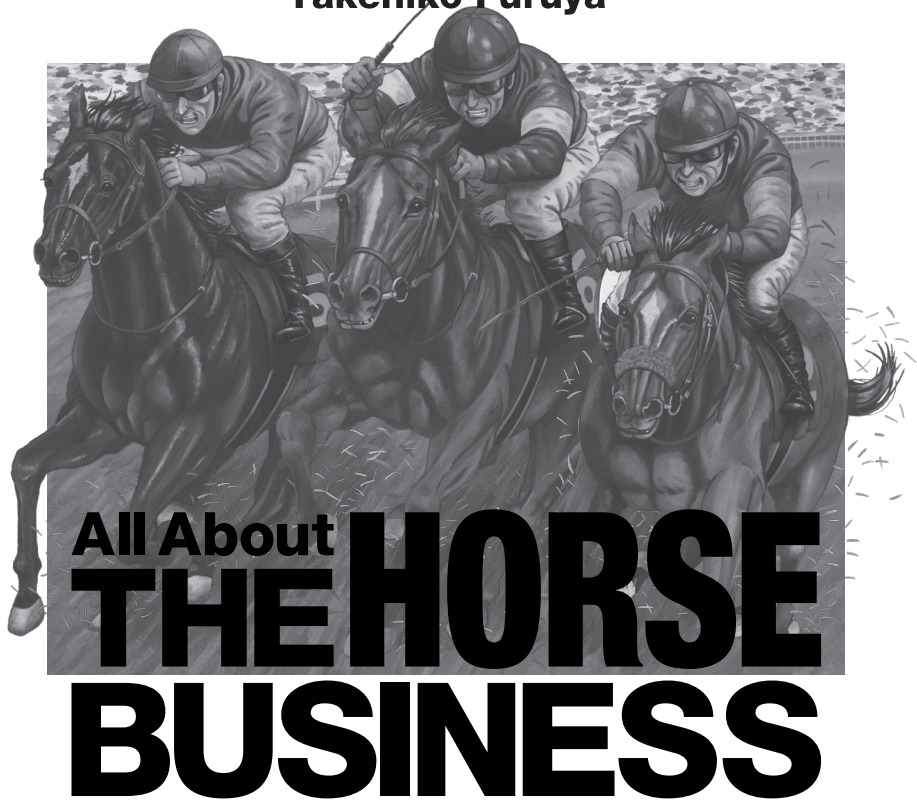


馬ビジネス

競馬ファンから調教師まで楽しく読める馬の教養

古谷剛彦
Takehiko Furuya



CROSSMEDIA PUBLISHING

はじめに

2025年春、中学の同窓会がありました。たまに会っていた人はごく少数で、卒業して以来初めて会う人が大半でした。父の影響で競馬を覚えたのは確かですが、本文の中でも紹介していますが、幼馴染のお爺さんが馬主をしていたこともあり、子供の頃から競馬が身近なものでした。また、中学1年の担任だった数学の先生が競馬好きだったこともあり、競馬に興味を抱く人も少なくありません。その先生も元気な姿を、同窓会で見せてくれました。

中学3年の時は、私立受験で行われていた面接の練習を兼ね、校長面接がありました。その際、「将来になりたい職業」という欄があり、私は「競馬評論家」と書きました。それを見た校長は「まあ、色んな職業があるからねえ」と困惑していたことは、今でも鮮明に覚えています。そのことを知っている人たちばかりなので、「本当に競馬評論家になったんだね」と色んな人たちに言われたのは嬉しかったですね。

このような環境で育った私は、初心者な気持ちしが正直わからなかったというのが本音です。そ

んなある日、JRAの競馬場で行われているビギナーズセミナーの中で、調教タイムの話をして
いた際、ある質問を受けました。

「時計をトルって、どういうことですか？」

調教タイムをストップウォッチで採時することを、時計を採ると言いますが、これが伝わりま
せんでした。誰もが知っていると思っただけでなく、専門的に競馬を観てきた
者の驕りだったと反省しました。とはいえ、初心者気持ちに立つことは自分には無理であり、
ビギナーズセミナーのスタッフの中には競馬を知らない人もいたので、その方々と話をしながら
わかりやすく説明できるように心がけるようになりました。私が担当するのは夏のJRA北
海道シリーズに限りませんが、ビギナーズセミナーの講師は、初めて競馬に触れる方も参加する時
もあり、私自身も日々勉強する場所になっています。

競馬に関しては、人生の大半を過ごしてきたものでありつつも、北海道を中心に取材活動を行
うようになると、生産、育成、地方競馬と、まだまだ知らないことばかりでした。その中で足繁
くセリに通い、色んな人たちと出会い、競馬の奥深さによりハマっていききました。今回、編集者
の方から連絡を頂き、幅広い範囲を覆う原稿の依頼に、最初は書き切れるかという不安もあり

ませんでした。しかし、評論する立場として、競馬のジャンルに限らず、引退競走馬を始めとする馬に関する流れを、改めて整理するきっかけになるのでは…という思いを持って、『馬ビジネス』を書かせて頂きました。

はじめに

002

第1章 Chapter 1 : The world of horse breeding

北海道から学ぶ馬産の世界

- 1 なぜ、馬産の97%が北海道に集まったのか
- 2 生産牧場はなぜ寒い地域が多いのか？
- 3 牧場と一口に言っても仕事はバラバラ
- 4 すべてのきっかけはジャパンカップだった
- 5 ダビスタみたいに簡単ではない配合
- 6 父親ばかり注目されるけれど…母系の重要性

COLUMN

日本が育んだ牝系の結晶 ドウラメンテ

014 018 022 026 030 034 038

第2章 Chapter 2 : The world of horse auction

セレクトセールから学ぶセリの世界

- 1 昔は「牧場で直接交渉」が当たり前だった
- 2 馬主じゃなくても知っておきたいセレクトセール
- 3 300頭以上が集まる日本最大の馬市場
- 4 実際に走らせてから買うトレーニングセールとは
- 5 なぜ中小牧場にとって繁殖牝馬セールが大事なのか
- 6 オンラインで馬を競り落とす仕組み

COLUMN セレクトセール出身のスターホースたち

第3章 Chapter 3 : The world of stud horse

サンデーサイレンスから学ぶ 種牡馬ビジネスの世界

第4章

Chapter 4 : The world of horse training center

坂路から学ぶトレセン (トレーニングセンター)の世界

1	競走馬第二の仕事場としてのスタリオン	070
2	時間配分が勝負になる種付けの現場	074
3	血を残すのは、勝つことより難しい	078
4	日本競馬のすべてを変えたサンデーサイレンス	082
5	知られざるスタリオンのオフシーズン	086
6	遺伝子で走る距離が決まる？	090
COLUMN	お祭りホースから大種牡馬へ キタサンブラック	094
1	なぜ関西馬のほうが強いと言われたのか	098
2	トレセンのコースごとの役割と使い分け	101
3	地方のトレセン事情	105
4	トレセンの1週間はどのように回っているか	109

- 5 木曜の出走確定までに起きている水面下の探り合い……………113
- 6 繊細な競走馬を悩ませる長距離移動の壁……………120

COLUMN 坂路の申し子 ミホノブルボン……………120

第5章 Chapter 5 : The world of horse racecourse

平日から学ぶ競馬場の世界

- 1 知っておきたい中央競馬全10場の特徴……………124
- 2 平日に中央競馬をやらない理由……………127
- 3 レースの裏で「公正」を見張る人たち……………130
- 4 実は名物だらけの競馬場フード……………134
- 5 実況放送がないと競馬開催はできない？……………137
- 6 レースのない平日、職員は何をしているのか……………141

COLUMN 試行錯誤が続く、夏の暑熱対策……………144

第6章 Chapter 6 : The world of local horse racing

北国から学ぶ地方競馬の世界

- | | | |
|---|------------------------|-----|
| 1 | 地方自治体はなぜ馬を走らせているのか | 148 |
| 2 | 世界でここだけ 馬が立ち止まる不思議な競馬 | 152 |
| 3 | オフシーズンのある北国の競馬場 | 156 |
| 4 | 年間売上が38億円から1000億円 高知競馬 | 159 |
| 5 | 名古屋競馬が全国に先駆けて挑んだハイテク化 | 162 |
| 6 | ダート競馬にも夢がある！ | 166 |

COLUMN

中央のエリートをねじ伏せた地方の馬たち

170

第7章 Chapter 7 : The world of horse owner

協会から学ぶ馬主の世界

- | | | |
|---|--------------|-----|
| 1 | 自分の馬を持つということ | 174 |
|---|--------------|-----|

ぬいぐるみから学ぶ 馬IPの世界

第8章

Chapter 8 : The world of horse intellectual property

2	所得金額500万円から目指せる馬主の道	177
3	各競馬場に存在する馬主協会	181
4	馬主気分を味わえる一口クラブ	184
5	ばん馬もサラブレッドも同じ資格で持てる	187
6	本当は馬主が出走申込を行う?	191
COLUMN	セレクトセール800万円の地方馬	194
	ハッピーグリーン	
1	競馬場のお土産コーナーが朝から混んでいる理由	198
2	ぬいぐるみになった最初の馬	201
3	愛馬が勝つと、部屋にグッズが増えていく	205
4	なぜ競走馬のぬいぐるみは「お座り」の姿勢なのか	208
5	武豊の鞍を作るメーカーのキーホルダー	212

COLUMN 実力だけでは決まらない、愛される馬の条件

216

第9章 Chapter 9 : The world of retired horse

馬術部から学ぶ

引退後の馬の世界

- | | | |
|---|-----------------------|-----|
| 1 | 種牡馬や繁殖牝馬になれなかった馬 | 220 |
| 2 | 競馬場を先導する、かつての名馬たち | 223 |
| 3 | 各地に広がる個性派引退馬牧場 | 227 |
| 4 | 名馬に会いに行くための手順とマナー | 230 |
| 5 | 大学の馬術部などにも知っている名前が | 234 |
| 6 | セカンドキャリアの橋渡し役「TAW」の試み | 238 |

COLUMN 種牡馬のために働く「当て馬」

242

おわりに
参考資料

ブックデザイン
カバーイラスト

金澤浩二
山田将志